

首から全身へ広がった強い浸出症状を経て 1 か月半で職場復帰した成人アトピーの経過 (28 歳 女性)

症例 ID：001-20-KM2 | 記録日：2014 年 4 月 21 日

1. 診断・治療前経過

中学期からアクセサリ接触部にかゆみと湿疹が出て、複数の皮膚科で外用薬を使用しました。2012 年春には首の湿疹にアンテベート軟膏を使用しました。

2012 年末から首のかゆみが急激に強くなり、2013 年初めには背中、胸、顔へ広がって発熱を伴い、休職しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	中学期以降、複数の部位にステロイド外用薬を使用しました。
製品名	アンテベート軟膏。以前の製品名は不明です。
強度	アンテベートを含む外用歴があります。
使用期間	中学期から成人期まで断続的に使用しました。
中止時期	2012 年末～2013 年初めです。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
中学～大学期	外用歴	金属接触部の湿疹に複数の外用薬を使用しました。
2012 年春	外用継続	首の湿疹にアンテベート軟膏を使用しました。
2012 年末	急性悪化	温泉旅行後、首のかゆみと腫れが強くなりました。
2013 年 1 月 6 日	治療開始	38～39 度の発熱、顔と首の腫れ、浸出液を伴う状態で受診しました。
治療開始後	症状の拡大	首、背中、胸、顔、四肢へ皮膚症状が広がりました。
約 1 か月半	職場復帰	強い症状が軽減し、職場へ復帰しました。
その後	皮膚の変化	落屑を繰り返しながら皮膚状態が変化しました。

4. ピーク時期

ピークは、2013 年 1 月初めに 38～39 度の発熱、顔と首の著しい腫れ、全身のかゆみと浸出液が重なり、休職した時期です。

5. 困りごと

- 顔と首の腫れで首を動かせず、人前に出られない状態となりました。
- 全身の浸出液と落屑に対する処置が必要でした。
- 発熱と強いかゆみにより休職しました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

(1) 経過中の皮膚画像



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。

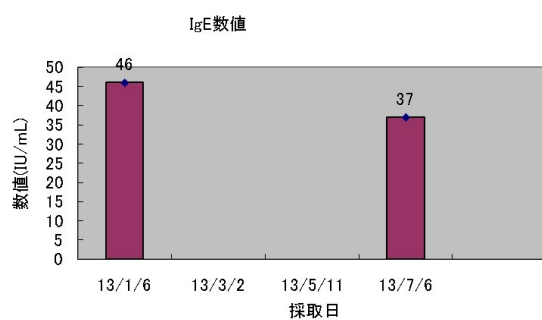


経過中の皮膚状態。

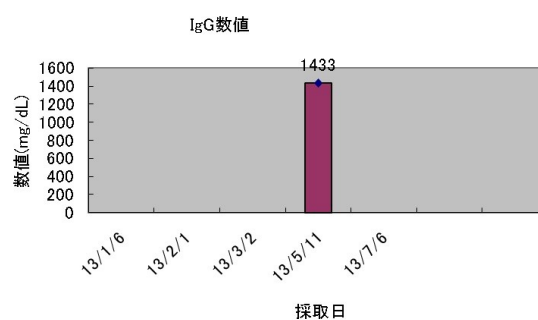


経過中の皮膚状態。

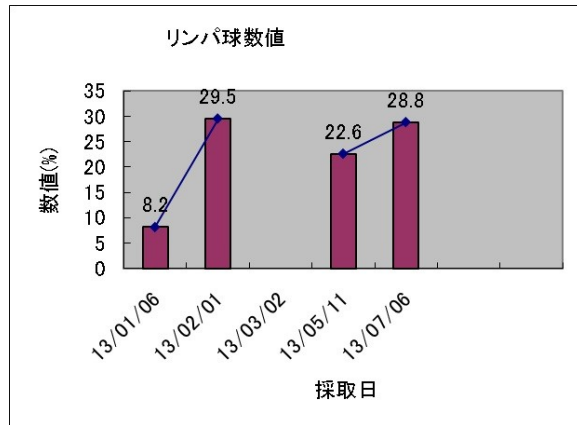
(2) 検査値グラフ



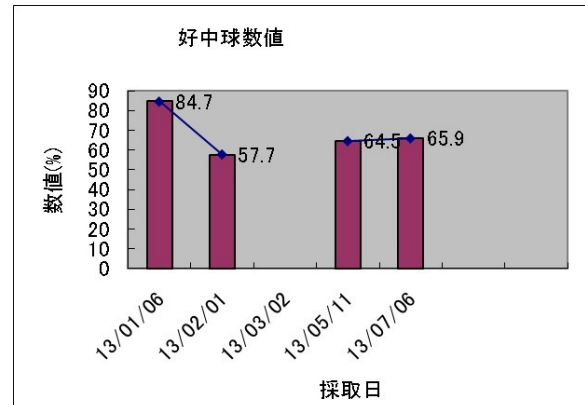
経過中の検査値の推移。



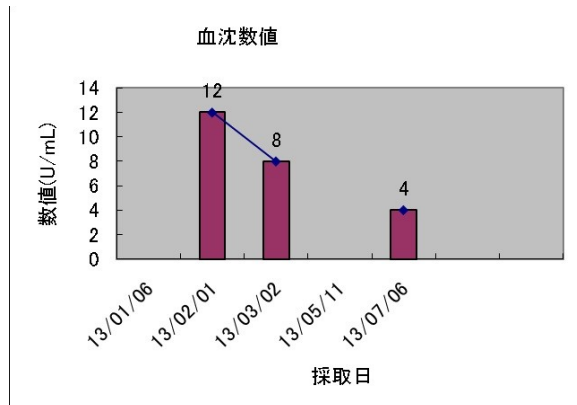
経過中の検査値の推移。



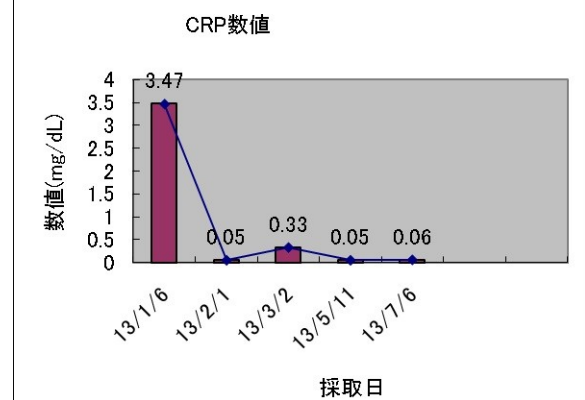
経過中の検査値の推移。



経過中の検査値の推移。



経過中の検査値の推移。



経過中の検査値の推移。

7. 経過のまとめ

全身の強い症状と落屑を経験しましたが、治療開始約1か月半後には職場へ復帰しました。

その後は皮膚の状態が段階的に変化し、仕事と日常生活を続けられるようになりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
 症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。